

広報誌で紹介した写真またはデータを希望者に提供します。

お申し込み 情報課広報広聴係

TEL23-3069

イベントの季節到来 まちの駅アウルオープン

(5月14日・20日)

5月14日(日)に今年も商店街の活性化と賑わいをつくるため、まちの駅「アウル」が“美しいまち、生き活きとした当別をつくる会”主催のイベントでオープンしました。

まちの駅長である安部慎さんの挨拶で開会した「おかみさんバザール」では、商店街のおかみさんたちの元気な声で様々な商品が格安で販売され、ふとみ元風会のYOSAKOI演舞、子どもジャズダンス、北海道医療大学吹奏楽部の演奏やゴスペル同好会の歌声によりアウルのオープンを大いに盛り上げました。

会場には大勢の人々が詰めかけ、出店やポイントカード会の福引に長蛇の列ができ、買物袋や景品を抱えた笑顔の家族連れなどで大変賑わったところです。

5月20日(土)には「春一番!大園芸市」が開催されました。

花や野菜の苗、庭木、鉢花の販売があり、ガーデニング用の花苗や限定の目玉商品が人気を集めていました。この中では、とうべつフラワーマスター連絡会による花と野菜の植え方の講習会が開かれて、参加者は講師陣の説明に熱心に聞き入っていました。

アウルではこれらのイベントを皮切りに、今年も多くのイベントが開催される予定です。



楽しく消防隊員と交流 消防祭り

(4月29日)



春の火災予防に合わせて当別消防署が同署敷地で消防祭りを開催しました。

当日は、親子連れなど約500人がつめかけ、放水、レスキュー、消火などの体験コーナーで子供たちと消防隊員が触れ合い、参加した小学生は「いつもは、体験できないことができてとても楽しかった」と感想を話してくれました。防火緑日コーナーでは、わたあめ、ヨーヨー、ポップコーンの無料配布が行われ、子供たちにとって楽しい1日となりました。

第18回全道中学校剣道錬成会

(5月3日～4日)



「礼儀心」をテーマとした、第18回全道中学校剣道錬成会が、総合体育館と白樺コミュニティセンターを会場に開催されました。熱気あふれる会場には、竹刀の音と気合の音が響き渡りました。当別中学校をはじめ、道内では釧路や稚内から、道外は青森県から113チームの参加がありました。また、3日には多くの参加者に当別町を知ってもらおうと、観光協会や商工会女性部などが、体育館前に販売コーナーを設置し、いも団子汁などの特産品を紹介しました。

当別高校農業クラブが地域で奉仕活動

(5月24日)



当別高校農業クラブが町内で奉仕活動を行いました。約100人が各グループに分かれて、日頃通学している道路の清掃のほか、ゆとろ、長寿園などの施設の花壇へ植栽を行いました。

また、パンケチュウベシナイ川の河川敷のグループは、日頃から河川愛護活動を行う団体「LOVE!パンケ」(辻野浩会長)と共にコスモスの種を花壇にまきました。草取りぐわを慣れた手つきで持った生徒たちは、地域住民と一緒に作業を行いました。

桜の森を目指して植樹祭

(5月19日)



今年も、青山中央地区にある「北海道医療大学の森」で北海道医療大学の661人の新入学生が100本の桜の苗木を植樹しました。

木を植えることが初めての学生も多く、石狩森づくりセンター職員から説明を受け、生命の尊さを意識しながら丁寧に桜の苗木を植えました。

参加した学生は「何年か経ち、自分が植えた桜が満開になるのが楽しみ」と話し、会場を後にしました。